５－２　東海地方の微小地震の分布　（1998 年 11 月 1 日～1999 年 4 月 30 日）

Distribution of Microearthquakes in Tokai District
(November 1,1998-April 30,1999)

名古屋大学大学院理学研究科
Graduate School of Science, Nagoya University

前報[1)] に引き続いて 1998 年 11 月 01 日より 1999 年 4 月 30 日までの６カ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

第１図は 1998 年 11 月 1 日より 1999 年 4 月 30 日までの６カ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された 20km 未満の深さで発生している地震の震央を３カ月ずつの期間に分けて示したものである。第２図は同じ期間に 20km 以深から 80km 未満の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

(1) 上部地殻内に発生する地震については，東海地域では愛知県西部および静岡県東部ではやゝ活動的であった。

(2) 長野県西部地域ではほゞ定常的でな活動であったが, 群発地震の活動域が東北部に拡大した。

(3) 飛騨山脈沿いの地域では引き続き活動がみられたが静穏化しつつある。

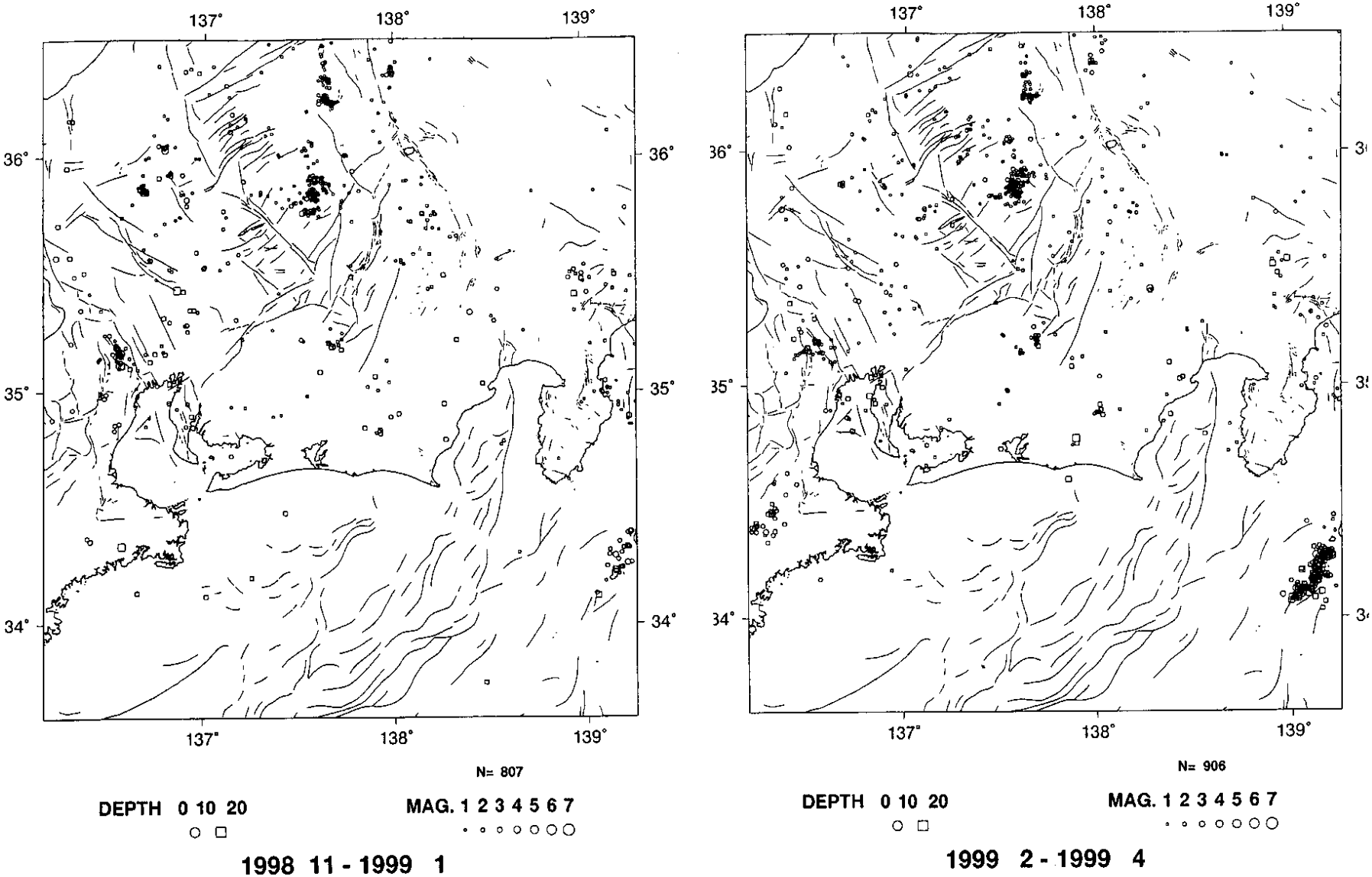
(4) 三重県北部では 1998 年４月 22 日の M5.4 の地震の余震活動が見られる。

(5) 三重県中部では 1999 年１月から地震活動が見られ，２月３日に M3.5 の地震があったほか３月１日 M3.7 などの地震があり，数多の微小地震が発生している。３月４日から震源地付近で開始した臨時観測の結果によれば，震源の深さは８～９ｋｍで３月はじめには極微小地震も含めると１回／分の頻度で地震が観測された。

(6) フィリピン海プレート内の地震活動は比較的に静穏であった。

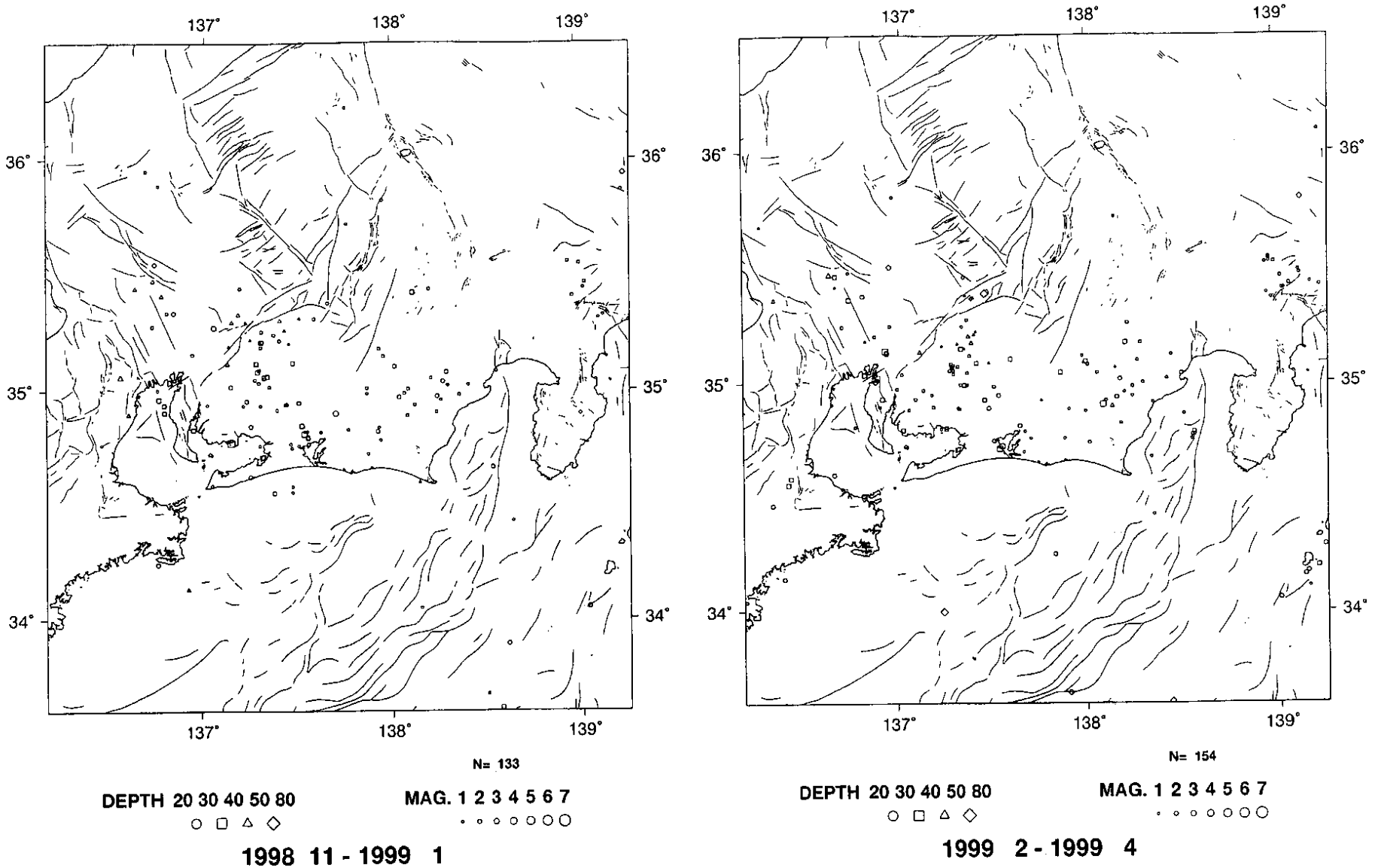
参　考　文　献

1) 名古屋大学理学部：東海地方の微小地震の分布（1998 年 5 月 1 日～1998 年 10 月 31 日），連絡会報，**61**(1999)，286-288



第１図　微小地震の分布（1998 年 11 月 1 日～1999 年 4 月 30 日）震源の深さが 20km 未満のもの

Fig.1　Epicenter distributionof earthquakes(Nov.1,1998 - Apr.30,1999) shallower than 20km.



第２図　微小地震の分布（1998 年 11 月 1 日～1999 年 4 月 30 日）震源の深さが 20km 以深から 80km 未満のもの

Fig.2　Epicenter distributionof earthquakes(Nov.1,1998 - Apr.30,1999) deeper than and equal to 20km.